

ニュースリリース

英国ベンダー・インペラス社は、アップウィンドテクノロジー社と日本の 技術サポート提供ベンダーとして提携

日本でのユーザ数を増加させる為にローカルサポートが必須

2013年4月16日 英国オックスフォード発 — インペラス社は本日、アップウィンドテクノロジー社と、日本の技術サポート提供ベンダーとして提携したことを発表しました。アップウィンド社は、インペラス社の日本の顧客数を増加させる為に、プリセールスとポストセールス活動をサポートし、自動車、産業機器、及び家電業界などでのビジネス拡大に寄与します。東京ナノファーム社は、引き続きインペラス社のソフトウェア開発・テスト製品の営業チャネルとして活動します。

アップウィンドテクノロジー社は、2002年に設立され、社長の中村憲一氏は、日本の組込み電子産業業界での活動で広く知れ渡っております。中村氏は、定期的に組込み関連の技術書に寄稿し、業界の委員会、コンファレンスへの参加を通して、日本の組込みソフトウェア開発技術を牽引しています。アップウィンド社のソフトウェア・エンジニアは、GNUソフトウェア及びGNU/Linuxシステムを含む組込みソフトウェアの開発・テストに対してのサービスを提供しています。

「組込みソフトウェアとシステムはより複雑化しており、それと共にそのスケジュールはより短く且つテストの要求は増大しています。インペラス社の仮想プラットフォームベースの製品は、すでに日本でも技術面とビジネス面の両面で認知されています。我々はこのビジネスの更なる成長に寄与できることをうれしく思っています。特に組込みソフトウェア検証、解析及びデバッグ

(CPU, OS レベルのデバッグ機能を含む) における革新的なツール M*SDK は、日本のユーザ様に非常に高い価値を提供します。」と、中村氏はコメントしています。

「2010年からインペラス社を日本の顧客にご紹介してきました。すでに車、家電、産業機器関連のお客様がそのユニークなビジネスモデルと斬新な技術の価値を認知して頂いております。更なるビジネス拡大には、ローカル技術サポートが必須ですので、アップウィンド社のような実績を持った技術ベンダーを迎え入れたことを、非常にうれしく思っています。」と、東京ナノファーム社の代表、横川氏はコメントしています。

「日本は、組み込みソフトウェア及び一般的なソフトウェアで大きなマーケットを持っています。特に我々の製品に対してその潜在成長は非常に大きいと思っています。Open Virtual Platforms (www.OVPworld.org). ウェブサイトを立ち上げてからすでに日本では、産業界と大学関連の両方にユーザを持っています。我々は、日本の顧客をサポートするアップウィンドテクノロジー社のような高品質且つ多岐に渡る経験を持つベンダーと提携したことを非常に喜ばしく思っています。」と、インペラス社の営業副社長の Larry Lapidès, はコメントしています。

###

お問い合わせ先：

アップウィンド社：jp.support@imperas.com.

東京ナノファーム社：yokokawa@imperas.com.

Imperas (www.Imperas.com)

*Imperas, Open Virtual Platforms, OVP and M*SDK are trademarks of Imperas Software Limited. Imperas acknowledge trademarks or registered trademarks of other organizations for their respective products and services.*